

# 令和7年度（2025年度）予算編成方針

## 1 令和6年度（2024年度）の経済情勢

景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2 本市の財政見通し

令和6年度（2024年度）は、「八王子未来デザイン2040」に掲げる施策を推進するとともに、「すべての人が輝き、やすらげる街」の実現に向け、効果・効率的な事業展開と中長期的な視点による経営マネジメントを一体的に捉えて進めている。事務事業を実施するための一般財源については、市税収入は当初予算額を確保できる見込みであるものの、財政調整基金の取崩しと臨時財政対策債の借入により財源対策を行っている。また、6月補正予算で肉付けした政策経費については、必要となる財源を繰越金で賄っている。

今後については、人口減少・少子高齢化が進行する中、これまでのような右肩上がりの市税収入は期待できない。一方で、社会保障関係経費や公共施設の維持管理経費、大規模修繕経費などが増加する。財政の硬直化を防ぎ、新たな行政需要に弾力的に対応するための経営改革の取組や事務事業見直しを更に進めていく必要がある。

### 3 取り組むべき課題

財政を取り巻く厳しい環境下にあっても、「八王子未来デザイン2040」を着実に推進するとともに、行政の持続可能性を確保していく必要がある。そのためには、効果的な予算配分ができるよう、事務事業の優先順位を明確化するほか、最少の経費で最大の効果をあげるため、事業執行の効率性の向上を図っていかねばならない。また、全ての事務事業において従来どおりの予算執行は不可能である。実施手法の見直しや事務事業の整理・統合、「共創」を意識した事務事業の再構築を検討するほか、積極的な歳入確保を図るため、創意工夫を行うとともに、将来を見据えた活力ある、活気あふれるまちづくりに努める必要がある。

### 4 予算編成の考え方

令和7年度（2025年度）の予算編成では、「八王子未来デザイン2040」の実現に向け、行動計画である「八王子市経営計画」に掲げた重点事業を計上する。ただし、令和6年度（2024年度）と同等の財源確保が困難である状況を踏まえ、経営改革の取組を更に推進するとともに、全ての事務事業において、実施手法の転換や廃止を含めた聖域なき事務事業見直しを行う必要がある。

以上の点を踏まえ、次に定める考え方に基づき予算編成を行う。

- (1) 「八王子未来デザイン2040」に定める「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、効果的な手法を用いて各施策を着実に推進する予算とする。
- (2) 中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営を行うため、「八王子市経営計画」の経営改革編に掲げる具体的な取組と事務事業見直しを確実に実施し、歳入と歳出の乖離である「ワニの口」を閉じるための初年度の予算とする。

以上を踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算要求すること。

## 基本方針

- 1 「八王子未来デザイン2040」に定める「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、「八王子市経営計画」に掲げる重点事業を予算化すること。
- 2 中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営を一体的に推進していくため、「八王子市経営計画」における経営改革の個別取組を確実に反映すること。また、既存事業の予算化にあたっては、事務事業の優先順位を明確にするとともに、社会環境の変化に適応した実施手法の転換を行うなど、全ての事務事業をゼロベースで見直すこと。
- 3 デジタル技術を活用した地域共生社会を実現するとともに、「健康経営」を意識した働きやすい職場づくりに向け、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進を図ること。
- 4 カーボンニュートラルの達成に向け、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用による環境負荷の低減を図るグリーン・トランスフォーメーション（GX）を推進する取組を予算化すること。
- 5 国・東京都の最新情報を捕捉し、確実かつ効果的に財源として活用すること。さらに、中核市として、その権限を最大限活用し、独自の事業展開を図ること。